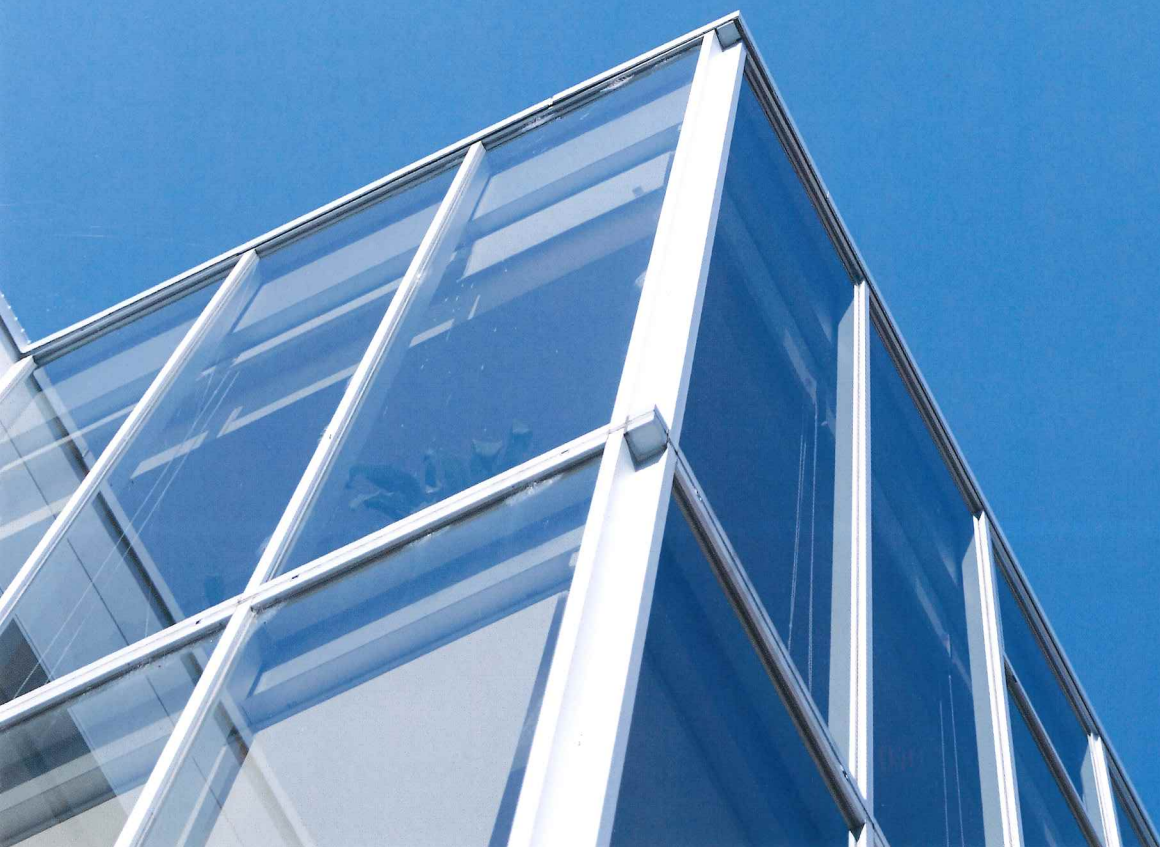




可能性のトビラを開けた先にあるもの。



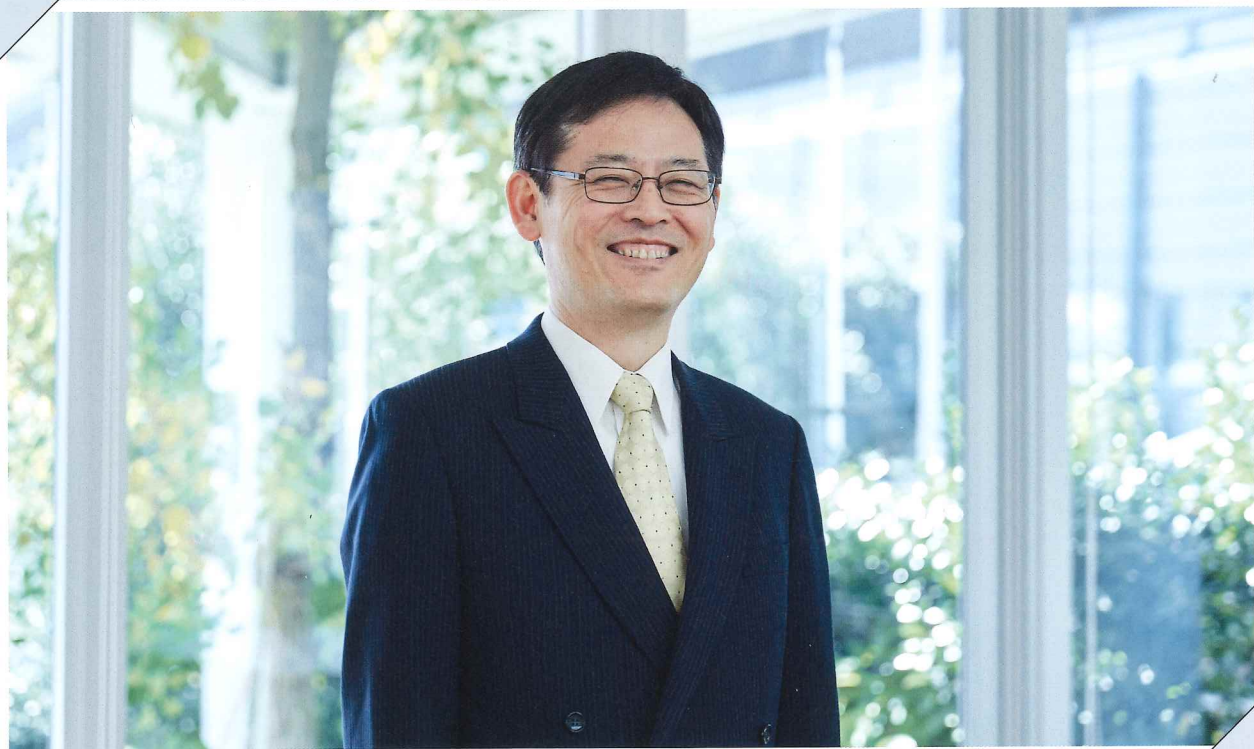
open, to the next
DesignNET



インターネットの世界を、

自由に切り拓く技術者になろう。

代表取締役 恒川 裕康
Hiroyasu Tsunekawa



技術力だけを携えて、いつも新たな領域に挑戦してきました。

私は学生時代、宇宙物理学を専攻していました。銀河同士が衝突すると何が起きるのか、自作のプログラムでコンピュータシミュレーションによる研究を行うような学生でした。考えることが好きで、未知の問題解明に没頭し、自らの思索を深めていく過程が好きだったのです。

理論物理学の分野でしたから就職に有利でもなく、有益な資格の一つも持っていない、そんな私が将来を模索し選んだ道はシステムエンジニアでした。プログラミングが好きでしたし、何よりも「考える力」を使って仕事ができると思ったからです。その後、会社員時代のさまざまな経験を経て起業し、オープンソースに特化した株式会社デージーネットを立ち上げました。

私がオープンソースという技術にこだわったのは、技術者の知恵と創意工夫でどんな高度なシステムもオリジナルで構築可能だからです。純粋に技術だけで勝負できる、そう思った私たちはオープンソースを駆使する技術を徹底的に磨きました。クライアントのWEBサーバを構築することから事業を始め、経験を積み、ノウハウを蓄積し、そうしてお客様の要望に完全フルオーダーで応えられる技術力

が徐々に信頼を受けるようになりました。現在では、メールサーバ、社内ネットワークサーバ、セキュリティ関連等を筆頭にインターネットの土台を支える多様なシステムの構築を担い、着実な成長を重ねています。

創業当時と違い、現在は多数のIT企業がオープンソースの技術を扱う時代です。しかし、インターネット上で次から次に公開される最先端技術を探求・研究し、クライアントに対する新サービスとして応用できる私たちの技術力が、さらなる市場拡大を可能にすると思っています。そして、視線は未来を見据えています。人工知能、IoT、ビッグデータの活用といった「すぐ目の前にある未来」の技術革新分野では、オープンソースを使った自由な研究によって、新しい技術が次々に生まれており、私たちが専門家として、こうした技術革新の分野への進出を目指しています。

そこで何よりも重要なのが人材です。最先端の技術とともに探求し、インターネットの世界を自由に切り拓く技術者となる。この思いに共感してくれる方と、次の時代とともに歩んでいきたいと思っています。

開発したソースコードは世界に公開する。

そのほうが、楽しいじゃないですか。



OSS研究室 部長

Kimiyoshi Ohno

大野 公善

中部大学 経営情報学部 経営情報学科卒

この先には、技術者として
あらゆる挑戦ができる未来がある。

OSS研究室という部署が、何をやっているのか。これは例え話になりますが、レゴブロックを想像すると分かりやすいかもしれません。レゴブロックにはさまざまな色・形状のパーツがあり、それらを集めてクルマや飛行機の形にする人がいます。または、ひとつの街をまるごと作ってしまう高度な技術を持つ人もいます。私たちが扱うオープンソースというものも同じです。世界中の誰もが扱えるオープンソースというピースを集め、世の中に役立つさまざまなシステムを作ります。そして私たちが構築するものは、こう言うてはなんですが、誰にも真似のできない最先端のノウハウが詰まっています。

例えば、メールの添付ファイルを自動圧縮・暗号化する「SaMMA」。サーバのログをWEBブラウザから検索・参照ができる「SyLAS」。クライアントPCのIPアドレスをWEB上から設定可能にする「DHCPadmin」。数え上げればきりがありません。

そして、オープンソースの世界の開発は、ある意味で独特です。いわゆる、厳重なセキュリティが施された閉鎖空間で検証を繰り返す方法とは明らかに違います。私たちは、開発したソースコードをインターネットで全世界に公開します。そして、

世界中の技術者に使ってもらい、不具合などの情報交換を重ねながらブラッシュアップする。実はこのやり方は、世界でもはやスタンダードであり、その中であらゆる先端技術が生まれています。



その代表格は人工知能でしょう。私たちにとっても、人工知能という新技術にどう関わるかは大きな課題です。人工知能とはいわばビッグデータで、無限に蓄積されるデータをどう処理していくかという技術です。例えば大手検索サイトの翻訳サービスを想像してみてください。あれも人工知能で、オープンソースです。私たちもそうした人工知能のサービスを提供する側になるのか、あるいは、人工知能を使うためのインフラ構築で力を発揮するのか、正直に言えば今は分かりません。ひとつ言えることは、この先には技術者としてあらゆる可能性に挑戦できる環境があるということです。私は、そう考えるとワクワクが止まらないのです。





DesignNET VOICE #02

OPEN!

「できない」という固定概念を捨てる。

ゴールに辿り着く道は、必ずある。



ソリューション開発部 課長

Yuya Maruyoshi

丸吉 祐也

南山大学 数理情報学部 情報通信学科卒



自分の仮説の正しさを証明する、 その瞬間の醍醐味。

いきなり、目の前に問題が出現する。解決できなければこれ以上の前進は不可能だ。そんなとき、あなたははどうするだろうか。この仕事をしているとそんな事態がザラにある。私ならまず心を落ち着かせ、解決の道筋をロジカルに考える。複雑そうに見える問題を細分化し、解決の道筋をステップ1、2、3と単純化するのだ。そうすればあとは、順番に解決にあたっていくと必ずゴールに辿り着くはずだから。

例えば、それまでWindows OSで動作していたシステムをオープンソースのLinux OSで再構築するプロジェクト。言葉にすると簡単そうに聞こえるかもしれないけれど、これがどれだけ大変なことか。そもそもWindowsとLinuxはまるで概念の違うOSである。それにも関わらず、プロジェクトのゴールは「Windowsとまったく同じ機能、同じ操作性、同じインターフェースで実現する」ことなのだから。おまけに「それ以上なら更にいい」という但し書きまで付いてくる。

無理かもしれない…という思いを飲み込み、冷静に問題を見据える。不可能に見えるハードルも、考え続ければ必ず道筋は見えてくる。社内のメンバーで解決策をディスカッションする。社内外問わず「その道の専門家」を探し出し、相談

する。特に、インターネットを通じて世界中の技術者から意見を募ることができるのも、オープンソースのシステム開発における最大の特徴だ。あらゆる方策から掘んだ情報を一つひとつ整理し、「これが正解かもしれない」と仮説を組み立て、確証がない中でシステムを検証する。最も息を潜めるのは動作テストの瞬間だ。頼むから上手くいってくれ…と念じながら目の前の画面を見つめる。その結果、想定通りの動作を実現したときは格別だ。心の中で密かに「自分の仮説は正しかった!」と声をあげる。



プロジェクトごとに異なるシステムをオーダーメイドで構築するデージーネットの技術レベルは高いと自負している。誰かが決めてくれた手順書はない。システムの構造を深く理解しているからこそ、独自の理論を組み立てて必ずゴールに辿り着く道を見つけることができるのだ。

DesignNET VOICE #03

OPEN!

最初に持っていたスキルは、

誰かの役に立ちたいという気持ちだけ。



管理部 技術管理課 係長

Hisae Mori

森 久恵

愛知淑徳大学 文学部 図書館情報学科卒



情報を整理することが好きで、
システムエンジニアを選んだ。

もともとの性格なのだと思います。一見するとまとまりのない情報を整理し、誰にでも分かりやすい形にすることが好きです。大学時代は『図書館情報学』という分野を専攻し、さまざまな情報の整理、分類、解析手法などについて学びました。こうした力を使って誰かの役に立つ仕事をしたいと思ったとき、選んだのがシステムエンジニアだったのです。今、振り返って見ても、このときの選択は正解だったと思います。

例えば、お客様のサーバに基本のOSや、その他さまざまなソフトウェアをインストールしてサーバをセットアップする業務があります。その際、どんな種類のOSやソフトウェアをインストールしたのか、どのような設定方法を選択したのか、どんな問題が起き、どのように解決したのか、今後どのようなリスクが考えられるか。残しておくべき情報がたくさんあるのです。私が力を注いだのは、こうした情報を社内の誰もが理解できるように、検索しやすく整理して保管しておくことです。

そうすると、お客様に対しては自社のサーバの明快な説明資料になります。その後のメンテナンスを別の技術者が担当した際にも役立ちます。別プロジェクトで同じケースの課題に直



面した技術者がいた場合「そうか、森さんはこうして解決したのか」と参考になり、結果的に会社全体の仕事効率や安全性の向上につながるのです。

目標は、今まで残してきた膨大な資料を整理して、「デージーネット品質」を確立することです。こういうケースではこうする。こんな問題が起きたらこう行動する。このようなリスクにはこの解決方法がある。全員がプロジェクトにあたる際の標準を作っていきたいのです。そうすれば、私の経験がみんなに活きる、こんなに嬉しいことはないです。

そして実はもう一つ、仕事効率の向上を目標にしています。出産をしたので、仕事に、育児に、家事に、乗り越えないといけないタスクがたくさん出てきました。このケースに、私がどんな方法を選択したのか。また仕事の進め方の資料を残し、後進のために標準を作りたいと思っています。

オープンソースソフトウェアをコア技術に、同時並行で進む多様なプロジェクトに対し、各部門が協働で新たな価値を生み出しています。

ソリューション開発部

プロの仕事を実践する

デージーネットの技術提案の中核となる部署です。よりよい技術を提供することを目標に、プロの技術者として提案型で技術を提供していきます。システムの設計から、システム構築、プログラム開発、そして運用管理・保守まで、3つのチームが協力して一貫した技術を提供します。お客様の要望のもとに、計画的に仕事を進めていくことを大切にしています。



企画営業室

デージーネットの技術を発信し、ニーズを顕在化させる企画を行う

マーケティングの企画を行い、顧客や潜在顧客とのコミュニケーションを行う部門です。Web、展示会、無料セミナー、プレスリリースなどの営業プロモーションを企画・実施してデージーネットの技術を必要とする人を探しだします。また、顧客を発見するための企画だけでなく、顧客を知るための企画、デージーネットにより深く関心をもってもらうための企画、信頼関係を醸成するための企画、技術力を伝える企画のように、多くの企画を考案し、営業活動を実施していきます。



OSS研究室

技術探求、新たな価値創出

世界中で公開される新たなOSSの調査を進めると同時に、そうした新技術がお客様へのサービス展開に応用可能かどうか研究します。また、自社オリジナルのOSS開発も進めます。



部門と業務

営業部

真の顧客ニーズを探り出す

お客様の要望から、どのような仕組みが最適なのかを考え、課題解決のための提案を行います。また、新規顧客の開拓も重要な仕事です。



管理部

能力を発揮できる環境づくり

他部署と協働でお客様への技術サービスの提供にあたり、全社業務の標準化や効率化の推進などを担当しています。



株式会社 デージーネット

設立：1999年 5月

資本金：4,000万円

代表者：恒川 裕康

本社 〒465-0025 名古屋市名東区上社四丁目39-1

東京営業所 〒105-0013 東京都港区浜松町二丁目6-5 浜松町エクセレントビル8F

▶ 採用に関するお問い合わせ： 2023recruit@designet.co.jp

<http://recruit.designet.co.jp>